

## 大門1

問1: 下線部① "the idea" が指す内容

正解: ② working as a member of a crew on a ship

- 詳細解説

第1段落の該当箇所直前に、"He dreamed of becoming a sailor(彼は船乗りになることを夢見た)" とある。直後の文章で「父親はその考え(the idea)に反対した」と続くため、"the idea" は「船乗りになること」、つまり「船の乗組員として働くこと」を指している。

- 不正解の選択肢

- ① 叔父の印刷所で職を得ること: これは父親が船乗りの夢に反対した後、フランクリンを修行に出した場所(兄ジェームズの店)に関連する内容であり、反対された「夢」ではない。
- ③ 石鹼とロウソクの店で無理やり働かされること: これは既に父親の店でやっていたことであり、フランクリンが「夢見た(dreamed)」内容ではない。
- ④ 幼い頃に読み方を学ぶこと: これはフランクリンの能力として記述されている事実であり、父親が反対した「計画やアイデア」ではない。

問2: 下線部② "the newspaper business" について

正解: ④ フランクリンは、この仕事から文章の書き方について深く学んだ。

- 詳細解説

第2段落に、"The work gave Franklin a deep appreciation for the careful construction of sentences(その仕事はフランクリンに、注意深い文章構成に対する深い理解を与えた)"、さらに "developed a talent for writing(書く才能を伸ばした)" とある。この記述が選択肢④と一致する。

- 不正解の選択肢

- ① 職務上必要なやり取りを手紙で行った: 本文にそのような具体的な記述はない。
- ② Mrs. Dogoodのエッセイを出版する仕事を任された: フランクリンは匿名(架空の女性)で密かにエッセイを書いて投稿していたのであり、兄から正式に「任された」仕事ではない。
- ③ 成し遂げた仕事は、社内で高く評価された: 兄ジェームズは、匿名エッセイの正体が弟だと知ったとき、"was not amused(面白くなかった)"、"resented(憤慨した)" とあり、むしろ反感を買って叩かれている。

### 問3: 空所③に入れる適切な語句

正解: ② set off

- 詳細解説

文脈は「16歳の時、フランクリンはニューヨークへ向けて(出発した)」となる。"set off for ~" で「～に向けて出発する」という定型表現になる。

- 不正解の選択肢

- ① set up: 設立する、準備する。
- ③ set about: 取りかかる、着手する。
- ④ set in: (天候などが)始まる、定着する。

いずれも「場所」を伴って「出発する」という意味にはならない。

### 問4: 下線部④で始まる段落内容との一致

正解: ④ フランクリンは、公的機関の印刷物を取り扱う仕事をしていた。

- 詳細解説

第3段落の後半に、"He printed pamphlets and books for the government(彼は政府のためにパンフレットや本を印刷した)"、"named him its official printer(彼を公式の印刷業者に指名した)" とある。これが「公的機関の印刷物を取り扱う」ことに該当する。

- 不正解の選択肢

- ① 1728年まで、友人らと印刷会社を営んでいた: 本文には "In 1728, he teamed up with a friend to open a print shop(1728年に、友人と協力して印刷所を開いた)" とあり、1728年「から」始まったことである。
- ② 自分の新聞を世界中で最も有名にした: 第3段落の最後(次の画像)には "most popular newspaper in the American colonies(アメリカ植民地で最も人気のある)" とあるが、「世界中」とは書かれていない。
- ③ パンフレットや新聞は、アメリカ独立戦争を称える役割を担った: 第4段落の内容。また「称える」のではなく、革命をもたらす「アイデアを広める手段(means of spreading ideas)」になったと述べられている。

### 問5: 下線部⑤ "bring about" の意味

正解:① cause

- 詳細解説

"bring about" は「(事態などを)引き起こす、もたらす」という意味の重要句動詞である。本文の "...ideas that would eventually bring about the American Revolution" は「最終的にアメリカ革命を引き起こすことになる考え方」という意味であり、"cause"(～を引き起こす、原因となる)が最も近い。

- 不正解の選択肢

- ② control: 支配する、抑制する。
- ③ contain: 含む、封じ込める。
- ④ cancel: 中止する、取り消す。

いずれも文脈に合わない。

問6: 下線部⑥ "the Junto" についての内容一致

正解:③ Group members held meetings every week.

- 詳細解説

第4段落の冒頭に、"Each week, he gathered a group of like-minded men to discuss philosophy..."(毎週、彼は哲学を議論するために志を同じくする人々のグループを集めた)"とある。このグループの愛称が "the Junto" であるため、選択肢③が正解となる。

- 不正解の選択肢

- ① グループのメンバーがフランクリンに「Junto」というあだ名をつけた: 本文には "The group was nicknamed the Junto" とあり、あだ名をつけられたのはフランクリン個人ではなく「グループ」である。
- ② フランクリンは重要な市民だけを招待した:"like-minded men(志を同じくする人々)" とあるだけで、身分を限定したという記述はない。
- ④ フランクリンは他のメンバーに本を売って利益を得た: 本文には "shared books and started what would become a public library(本を共有し、後の公共図書館となるものを始めた)" とあり、共有や公共化が目的であり、販売利益については述べていない。

問7: 下線部⑦ "Poor Richard's Almanack" についての内容一致

正解:② Franklin's yearbook helped build his career as a publisher.

- 詳細解説

第5段落の冒頭に、"Franklin's success in publishing grew following the introduction of Poor Richard's Almanack(『貧しいリチャードの暦』の導入後、フランクリンの出版における成功は成長した)" とある。これが「出版者としてのキャリアを築く助けとなった」という内容と一致する。

- 不正解の選択肢
- ① ベンジャミン・フランクリンとリチャード・サンダースは親友だった: 本文に "In the voice of Richard Saunders(リチャード・サンダースという語り口で)" とあり、サンダースはフランクリンが設定した架空の人物(ペンネーム)である。
- ③ "No gains without pains" は、この年鑑に掲載された物語(story)だった: 本文には "popular proverbs(人気のあることわざ)" の例として挙げられており、物語(小説など)ではない。
- ④ 年鑑の出版が印刷技術を向上させた: この年鑑がよく売れたことは記述されているが、これによって「技術(techniques)」そのものが向上したという記述はない。

問8: 下線部⑧(科学的追求)についての内容一致

正解: ③ Franklin coined several words related to electricity.

- 詳細解説

第6段落に、"He invented the lightning rod and came up with many scientific terms, including 'battery' and 'electrify.'(彼は避雷針を発明し、『バッテリー』や『帯電させる』といった多くの科学用語を考案した)" とある。語彙を考案することは "coin words" と表現されるため、選択肢③が一致する。

- 不正解の選択肢
- ① フランクリンは科学実験に多額の資金を寄付した: 彼自身が実験を行ったことは書かれているが、多額の寄付をしたという記述はない。
- ② フランクリンは電力を発生させるために避雷針を用いた: 避雷針は雷が電気であることを証明するために発明されたものであり、電力を発生(generate power)させて利用するためのものではない。
- ④ フランクリンはロッキングチェアに座っている間に様々なものを発明した: 彼はロッキングチェアそのものを発明(invented... what is thought to have been the first rocking chair)したが、その椅子に座りながら他のものを発明したという記述はない。

問9: 下線部⑨ "tensions began to rise"(緊張が高まった)理由

正解: ② The colonists had to pay more than before for published materials.

- 詳細解説

第7段落に、"after Parliament passed the Stamp Act. This law placed a tax on all materials printed... (議会が印紙法を可決した後……この法律は全ての印刷物に税金を課した)" とある。税金が課されるということは、それまでより支払いが増えることを意味するため、選択肢②が適切である。

- 不正解の選択肢

- ① ペンシルベニア議会がフランクリンを代表者に選んだ: これは事実だが、植民地とイギリスの「緊張が高まった直接の理由」ではない。
- ③ フランクリンは植民地が彼を最も必要としていた時にロンドンに滞在していた: 彼は代理人としてロンドンにいたが、これが緊張の「理由」ではない。
- ④ フランクリンは印紙法を批判するために議会で演説した: これは緊張が高まった「後」に行われた反対運動 (This effort helped...) であり、緊張が始まった理由ではない。

問10: 下線部⑩の段落内容と一致しないもの

正解: ② フランクリンは、独立宣言を立案する委員会をトマス・ジェファーソンから任された。

- 詳細解説

第8段落に、"Franklin joined the committee to draft the Declaration of Independence. He made key changes to Thomas Jefferson's first draft. (フランクリンは独立宣言を起草する委員会に加わった。彼はトマス・ジェファーソンの最初の草案に重要な変更を加えた)" とある。委員会への任命は議会 (Congress) によるものであり、ジェファーソン個人から「任された」わけではない。よって、これが「一致しない」選択肢となる。

- 正解(一致している)選択肢の根拠
- ① 1776年に議会でイギリスからの分離が決まった: 本文に "...Congress voted to separate the colonies from British rule in 1776" とある。
- ③ フランスに赴き、軍事的、財政的援助を確かなものにした: 本文に "...negotiated a treaty that would ensure France's military and financial support" とある。
- ④ 1783年の条約締結が戦争を終結させ、アメリカ独立につながった: 本文に "...Treaty of Paris, in 1783. The treaty ended the American Revolutionary War and led to the establishment of the United States..." とある。

問11: 下線部⑪ "terms" の表す意味

正解: ② conditions

- 詳細解説

本文の "...negotiated the terms of peace with Britain(イギリスとの和平の条件を交渉した)" という文脈。条約や合意に関する文脈で "terms" が複数形で使われる場合、「条件」や「条項」を意味する。したがって、"conditions"(条件)が最も適切である。

- 不正解の選択肢
- ① words: 言葉。
- ③ semesters: 学期(大学などの2学期制の期間)。
- ④ periods: 期間、時代。

これらは「和平交渉の条件」という意味にはならない。

問12: 下線部⑫の段落内容と「一致しない」もの

正解: ① Franklin had not let slaves work for him.

- 詳細解説

第9段落に、"Though he once owned some slaves...(かつて数人の奴隸を所有していたが)" とある。奴隸を所有していたということは、彼らに労働を強いていたことを意味するため、「奴隸に働かせていなかった」とする選択肢①は本文と矛盾する。

- 正解(一致している)選択肢の根拠
- ② フランクリンはアメリカでの奴隸制廃止を主張した: 第9段落の最後に "arguing for the abolition of slavery in the U.S." とある。
- ③ 憲法制定会議において、フランクリンより年上のメンバーはいなかった: 本文に "At 81, he was the oldest of the gathering's 55 delegates" とある。
- ④ 憲法制定会議は合衆国憲法を起草し、承認した: 本文に "Constitutional Convention, which drafted and ratified the U.S. Constitution" とある。

問13: 空所⑬に入れる適切な語句

正解: ③ away

- 詳細解説

文脈は「彼が亡くなった(died)後に、回想録が編纂・出版された」となっている。死を意味する遠回しな表現(婉曲表現)として、句動詞の "pass away"(亡くなる)が一般的である。

- 不正解の選択肢
- ① by: 通り過ぎる、(時間が)経過する (pass by)。

- ② up:(機会を)見送る(pass up)。
- ④ down:(後世に)伝える、継承する(pass down)。

これらはいずれも「死去した」という文脈には合致しない。

#### 問14: 下線部⑭の段落内容と「一致しない」もの

正解: ① The book was published before Franklin's death.

- 詳細解説

第10段落の冒頭に、"His memoirs were compiled and published after he passed away(彼の回想録は、彼が亡くなった後に編纂・出版された)" とある。「死ぬ前に出版された」とする選択肢①は事実と逆である。

- 正解(一致している)選択肢の根拠
- ② その本は多くの言語で読まれてきた: 本文に "has been translated into many languages" とある。
- ③ その本はフランクリンの生涯の記録である: memoirs(回想録)や autobiography(自伝)という記述から、彼自身の人生の記録であることがわかる。
- ④ その本は今日、世界中で知られている: 本文に "Today they are known as..."、"It is considered a classic..." とあり、世界的な名声が示唆されている。

#### 問15: 本文の表題として最も適切なもの

正解: ④ An Important Figure in Early U.S. History

- 詳細解説

本文全体を通じて、フランクリンの幼少期、印刷業での成功、科学者としての功績、外交官としての活動、政治的貢献(独立宣言や憲法制定)、奴隸制廃止運動まで、多岐にわたる生涯を包括的に記述している。これらすべてを包含するタイトルとして、「アメリカ初期の歴史における重要人物」が最もふさわしい。

- 不正解の選択肢
- ① アメリカにおける奴隸制終結への道: 奴隸制に関する記述は人生の終盤の一部であり、全体を代表するものではない。
- ② フランクリンと家族の関係: 冒頭に父親や兄とのエピソードがあるが、人生の大部分は彼の公的な功績に焦点を当てている。

- ・③ 出版業界が科学に与えた影響：出版と科学の両方の記述はあるが、その相互影響をメインテーマとしているわけではない。